

日本工学院専門学校	開講年度	2022年度	科目名	工業デザイン実習3	
科目基礎情報					
開設学科	プロダクトデザイン科	コース名	全コース	開設期	前期
対象年次	3年次	科目区分	選択	時間数	120時間
単位数	4単位	開講時間	木曜1時限～	授業形態	実習
教科書/教材	参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。				
担当教員情報					
担当教員	明石　竜太郎		実務経験の有無・職種	有・陶芸家	
学習目的					
この科目を受講する学生は、工業製品の商品企画を行い、技術とノウハウを修得します。、これから経験していく仕事の現場で、役に立つものづくりのj実践的な実習から学び、素材、道具の正しい選び方、使い方を理解し、身に着けるようになる。プロダクトデザインの「商品企画」に関連するプロセスを理解し、デザイン提案をする際に必要な能力を積極的に学び、実践することができるようになるのがねらいである。					
到達目標					
この科目では、学生が、商品企画に取組むことでプロダクトデザインをプロセスから学び、アイデアスケッチ・立体モデルの制作・図案の作成・提案モデルの制作・モデルの撮影・プレゼンボード制作・プレゼンテーションと提案型デザイン手法で、検証を重ねながら試作し、プロダクトデザイナーの仕事を理解して、デザインの現場で活躍するために必要な技術や知識を向上させること、段階的に 素材 の選択、サイズの決定、カラーの選択、仕上げの選択を考慮して、商品提案ができるようになることを目標にしている。					
教育方法等					
授業概要	この授業では、教科書の内容に沿って、講師からの解説を受けます、道具の使い方から素材の特性、デザインの適正など製品が出来る一連の流れを実習を通して学ぶ授業です。講師のデモンストレーションから学びを深め、学生の「プロダクトデザインの提案力」を育成していく。この授業に主体的に参加する学生が、自分の「プロダクトデザインの総合的能力」を自分自身の実践し、活用できるようになることを目指す。				
注意点	この授業では、より高度な実習として学生に工業製品が出来る一連の流れを、実習を通して学び、プロダクトデザインに触れてもらう機会になります。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者はこの科目合格することができない。				
評価方法	種別	割合	備　考		
	プレゼン	20%	制作物の発表方法、内容について評価する		
	課題完成度	40%	提出課題完成度を総合的に評価する		
	リサーチ	20%	制作準備と過程を評価する		
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	タイルのデザイン実習1		タイルのアイデアを練る		
2回	タイルのデザイン実習2		タイルのアイデアを練る		
3回	タイルのデザイン実習3		石膏原型を制作		
4回	タイルのデザイン実習4		量産　乾燥する		
5回	タイルのデザイン実習5		タイルのデザインを制作する1		
6回	タイルのデザイン実習6		タイルのデザインを制作する2		
7回	タイルのデザイン実習7		タイルのデザインを制作する3		
8回	タイルのデザイン実習8		タイルのデザインを制作する4		
9回	タイルのデザイン実習9		タイルのデザインを制作する5		
10回	タイルのデザイン実習10		タイルのデザインを制作する6		
11回	タイルのデザイン実習11		タイルのデザインを制作する7		
12回	タイルのデザイン実習12		タイルのデザインを制作する8		
13回	タイルのデザイン実習13		タイルのデザインを制作する9		
14回	タイルのデザイン実習14		タイルのデザインを撮影する		
15回	作品講評		プレゼンボード　講評会　全体のまとめ		